

## 「異動願(届)」の記入例「復活」

### 【 休止(通常の休学)からの復活 】

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(通常の休学)からの復活】		
奨学生	復活の開始※ (大学院のみ選択可)	<input type="checkbox"/> 学籍上の日付 ( <input checked="" type="checkbox"/> 卒業に合わせる)	※大学院以外のもので記入があった場合は無効とし、「学籍上の日付」として処理します。 なお、大学院のもので未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
学校	休学日※ 20 20 年 10 月 1 日	※休止時に振込超過がある場合は、返戻が必要。	
	復学日 20 21 年 4 月 1 日		

- 休止(通常の休学)からの復活の注意点
- ・奨学生本人の自署・押印が必要。
  - ・「復活の開始」は、大学院のみ選択可。
  - ・「復活」可能な時期は、学籍日の翌月/月の初日はその月。

### 【 休止(留学)からの復活 】

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(留学)からの復活】		
奨学生	復活の開始※ (大学院のみ選択可)	<input type="checkbox"/> 学籍上の日付 ( <input checked="" type="checkbox"/> 卒業に合わせる)	※大学院以外のもので記入があった場合は無効とし、「学籍上の日付」として処理します。 なお、大学院のもので未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
学校	復活希望年月※ 20 年 月	※海外留学支援制度・官民協働海外留学支援制度の受給者、及び学籍上の身分が「留学」又は「在学」の者が適 及復活を希望する場合のみ記入。その他の記入は無効。	
	卒業期 20 23 年 3 月 (見込)	【留学情報】欄 記入上の注意	
	国名 アメリカ合衆国	※1 通常はいずれか1つに <input checked="" type="checkbox"/> を付ける。 留学中に複数の身分が存在する場合は <input checked="" type="checkbox"/> を付けず、 <input type="checkbox"/> 内に時系列順 に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。	
	留学時の身分※1 <input checked="" type="checkbox"/> 休学 <input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> 在学	※2 通常は1.に「留学時の身分」欄で <input checked="" type="checkbox"/> を付けた期間を記入する。 「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」 の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。 「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学 時の身分」欄に <input checked="" type="checkbox"/> でなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応す る期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。	
	上記で選択した 身分の期間※2 (2. 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日)	※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。	
国費情報 (ある場合のみ) ※3	<input checked="" type="checkbox"/> 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 官民協働海外留学支援制度 受給期間: 20 20 年 10 月 ~ 20 21 年 9 月		
留学奨学金継続願提出	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	(注) 休止時に振込超過がある場合は、返戻が必要。	
第二種奨学金(短期留学)申請	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		

- 休止(留学)からの復活の注意点 (【留学情報】欄の注意点は「休止(留学)」と共通)
- ・奨学生本人の自署・押印が必要。
  - ・「復活の開始」は、大学院のみ選択可。
  - ・「復活」可能な時期は、学籍日の翌月/月の初日はその月。

### 【 休止(長期欠席)からの復活 】

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(長期欠席)からの復活】	
学校	復活年月 20 21 年 1 月	卒業期 20 22 年 3 月 (見込)

- 休止(長期欠席)からの復活の注意点
- ・奨学生本人の自署・押印が必要。
  - ・復活年月は学校が把握する通学再開の時期。奨学生本人の選択ではない。  
例えば、1月から通学を再開した奨学生が長期欠席中の11月からの振込再開を希望しても認められない。
  - ・卒業期が長期欠席前と比べて延期している場合は「復活」不可。  
成績を理由とした「廃止」又は「停止」の認定報告が必要。
  - ・長期欠席で休止した期間は、貸与期間に通算される。

### 【 休止(長期履修奨学生の貸与先送り)からの復活 】

記入者	<input type="checkbox"/> 【休止(長期履修奨学生の貸与先送り)からの復活】	
学校	復活年月 20 21 年 1 月	卒業期 20 22 年 3 月 (見込)

- 休止(長期履修奨学生の貸与先送り)からの復活の注意点
- ・奨学生本人の自署・押印が必要。
  - ・復活希望年月は奨学生本人が希望する任意の年月。
  - ・「休止」時点から卒業期が延びていないことを確認。